

JTEF

認定NPO法人
トラ・ゾウ
保護基金

JAPAN TIGER AND ELEPHANT FUND



地球の、いのちを、守りたい。

トラ保護基金

©吉野信



ゾウ保護基金

©近野浩



イリオモテヤマネコ
保護基金

©村田行



生息地破壊、骨・毛皮目的の密猟によって 追いつめられるトラ



トラは世界13カ国にわずか3200頭ほど棲息するだけ。(2010年寅年時点) 100年前には10万頭といわれましたが、密猟や生息地の破壊により加速度的に減少しています。アジアに現在棲息する9グループのうち、4つはすでに絶滅しました。骨や毛皮目的の密猟を防ぎ、小さく分断された生息地の森をつなぐことが急務になっています。

象牙目的の密猟で急激に減少するアフリカゾウ、 生息地破壊によって消えゆくアジアゾウ



アジア全体における野生ゾウの生息域は、4000年間で、94%の面積が失われてしまいました。現在わずか37,000~51,000頭の野生のアジアゾウが生息しています。アフリカゾウの数は、毎年20,000~30,000頭が密猟されています。その結果、サバンナ地帯では2007~2014年の7年間に30%、森林地帯では2002~2012年の10年間に64%減少してしまいました。

もともと数の少ないイリオモテヤマネコの 交通事故死が増加



国の特別天然記念物イリオモテヤマネコは、環境省のレッドリストでもっとも絶滅の恐れの高い「絶滅危惧IA類」に選定されました。配慮に欠ける観光開発や農地整備などが生息地に大きなダメージをもたらしています。特に、2016年は交通事故死が過去最悪の7頭となり、対策の強化が求められています。また、重要生息地に入り込む「エコツアー」の増加に伴いヤマネコの暮らしのかく乱も大きな脅威になりつつあります。

豊かな地球を次世代へつなぐために、 野生のいのちとの共存は欠かせません。



なぜ、トラ、ゾウ、ヤマネコを守るのでしょうか？

肉食のトラは、アジアの森の「食べる・食べられる」つながりのトップに立ちます。草食のゾウは、アジア、アフリカの森を歩き回り、たくさんの草木を倒し食べることで草原をつくる一方、種子を運んで新たな森を生みだします。これら生態系のカギをにぎる動物がいるから生態系はバランスが保たれ、人間を含むすべてのいのちを守る働きが生まれます。イリオモテヤマネコも、唯一の生息地である西表島で「食べる・食べられる」つながりのトップに立ち、豊かな生態系を支えています。



野生の世界を守ることは、地球環境と人間を守ること。

地球上の多様ないのちのすべては、複雑に関わりあい、生態系をなしています。その働きで、すんだ空気、おいしい水、豊かな土が生みだされ、異常気象がやわらげられます。多様ないのちが共存できる環境を、これ以上失わないようにすることは、野生の動物や植物たちのためだけでなく、私たち人間の未来も守ることなのです。

JTEFによる保護活動

インドで「森のつながり」を保つための活動を行っています。

トラやその獲物になる動物が、細くなってしまった森のどのあたりを移動・利用しているか調査し、その周辺の村人によるタキギの伐採を減らすため、燃料効率の良いコンロを各家庭に設置しています。



トラ、ゾウの生息地で展開される 密猟防止活動を支援しています。

ケニア、インドなどの生息地で政府やNGOが行う密猟防止レンジャーの訓練実施、装備・パトロール用燃料の支給などを行っています。

象牙の違法取引調査を実施し、日本における象牙製品の 販売禁止に向けたキャンペーンを展開しています。

違法取引、ネット販売、政府による取引規制の効果を調査し、消費者に象牙製品を買わないよう呼びかけ、ワシントン条約で採択された「国内市場閉鎖決議」を遵守するよう日本政府に求めています。

ヤマネコの交通事故を防止する ための活動を行っています。

JTEF西表島支部(愛称:やまねこパトロール)では、夜間、地元の人々からなるパトロール・チームで道路を車で巡回してヤマネコへの注意を呼びかけ、昼間は、飛出し発見を遅らせる原因になる路肩の草刈りなどを行っています。また、西表島すべての小中学校で、「ヤマネコのいるくらし授業」を行っています。



教育普及活動、 チャリティーイベントも 活発です。

子どもたちが自ら学んだトラの保全について周囲に伝える「うえのトラ大使」など、動物園とのコラボレーションによる教育普及活動を行っています。また、ミュージシャンやアーティストとのコラボレーションで、多彩なイベントを実施しています。



3つの基金で、野生動物と自然環境の保全を目指しています。

JTEFの活動は、皆さまから寄せられる寄付・募金でまかなわれています。お寄せいただいた寄付・募金が、何のために、どこに、どれほど使われているか、透明性の高い報告に努めています。ぜひ皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

トラ保護基金

●寄付金の使途

インドで効率的なコン口の各世帯への設置、森を大切にしながら暮らしを向上するための技術指導などに、マレーシアでは、違法取引情報を集めて政府に提供する活動や、現地での教育普及活動にかかる費用。

ゾウ保護基金

●寄付金の使途

インドではゾウと地域住民とのトラブルを予防するため必要な機材や技術を住民に提供する費用。アフリカでは象牙目的の密猟を防止するためにレンジャーが必要とする物資、訓練の費用。日本では、象牙取引に関する調査や、条約決議に従って象牙の販売を禁止するよう求めるキャンペーンを実施する費用。

イリオモテヤマネコ保護基金

●寄付金の使途

ヤマネコを交通事故から守る夜間パトロールや草刈にかかる費用、出張授業や教材開発にかかる費用、西表島支部の運営費などに使います。

JTEFサポーター・システム（年間寄付制度）

トラ保護基金／ゾウ保護基金／イリオモテヤマネコ保護基金

3,000 円／5,000 円／10,000 円／20,000 円／年

「年次報告書(年1回)」「保護基金通信」「イベントなどのご案内」をご送付いたします。

デジタルサポーター(マンスリーサポート) 500 円／1,000 円／月

「eニュースレター配信」「イベントなどのご案内」

法人賛助会員 50,000 円(一口)／年

「年次報告書(年1回)」「ニュースレター」「イベントなどのご案内」

*年間サポーターは毎年11月1日～翌年10月末日までが1期間となります。年度途中にご入会の方には、年次報告書と保護通信のバックナンバーをお送りいたします。
*サポートは組み合わせてお申し込みいただけます。(例:トラ10000円+ゾウ5000円など)
*その他ご寄付は随時お受けしておりますのでご協力をお願いいたします。
*トラ・ゾウ保護基金は認定NPO法人です。皆さまにいただいたご寄付は、納められた所得税の控除(還付)に申告できます。

■サポート費のお振り込み先

ゆうちょ銀行 口座番号 00170-7-355897

加入者名 特定非営利活動法人 トラ・ゾウ保護基金

トラ・ゾウ保護基金に賛同して下さる方々(50音順)

- 相澤登喜恵さん(動物肖像画家) ●新井晴みさん(俳優)
- 安藤元一さん(ヤマザキ学園大学名誉教授) ●池田卓さん(シンガーソングライター)
- 井上奈奈さん(現代アーティスト) ●岩田好宏さん(子どもと自然学会顧問)
- 牛越峰統さん(一般社団法人日本プロサーフィン連盟名誉顧問)
- 大森享さん(元北海道教育大学教授) ●岡田彰布さん(野球評論家)
- 小川潔さん(東京学芸大学名誉教授) ●加藤登紀子さん(シンガーソングライター)
- 蟹江杏さん(版画家) ●見城美枝子さん(青森大学副学長・エッセイスト)
- 巨勢典子さん(作曲家・ピアニスト) ●小林裕児さん(画家)
- 権藤眞禎さん(社団法人兵庫県自然保護協会理事長、元神戸市立王子動物園園長)
- 坂本美雨さん(ミュージシャン) ●沢田研二さん(歌手) ●瀬木貴将さん(ミュージシャン)
- 田中豊美さん(動物画家) ●田中裕子さん(俳優) ●田畑直樹さん(葛西臨海水族園園長)
- 土居利光さん(前恩賜上野動物園園長、日本バンド保護協会会長)
- 並木美砂子さん(帝京科学大学教授) ●根本美緒さん(フリーキャスター・天気予報士)
- 南ぬ風人 まーちゃんうーぼーさん(三線アーティスト) ●ヒサクニヒコさん(漫画家)
- 平岩弓枝さん(作家) ●福井崇人さん(2025PROJECT 理事)
- 福田豊さん(恩賜上野動物園園長) ●藤木勇人(志いさー)さん(作家)
- 古沢広祐さん(國學院大学教授) ●前川貴行さん(動物写真家)
- 松田陽子さん(シンガーソングライター)
- 水野雅弘さん(株式会社TREE 代表・プロデューサー)
- 三石初雄さん(帝京大学専門職大学院教授)
- 宮下実さん(ときわ動物園園長・元近畿大学教授・大阪市天王寺動物園名誉園長)
- 村田浩一さん(日本大学生物資源科学部特任教授)
- 森川純さん(酪農学園大学名誉教授) ●八千草薫さん(俳優)
- 山極壽一さん(京都大学総長/進化論・生態学・環境生物学・動物学)
- 山崎薫さん(学校法人ヤマザキ学園理事長)
- 吉野信さん(動物自然写真家) ●渡辺貞夫さん(ミュージシャン)

JTEFの団体紹介

- 理事長 戸川久美
- 事務局長/理事 坂元雅行(弁護士)
- 西表島支部事務局長 高山雄介
- 理事 朝倉淳也(弁護士)
- 戸田耿介(元兵庫県立人と自然の博物館主任研究員)
- 羽山伸一(日本獣医生命科学大学教授/野生動物学・獣医学、獣医師)
- 監事 辻村章(株式会社末広商会代表取締役)
- 専門家アドバイザー ラーマン・スクマール(動物生態学・アジアゾウ/前IUCN アジアゾウ専門家グループ委員長)
- 川西加恵(動物生態学・トラ/IUCN ネコ科動物専門家グループ委員)
- 岡村麻生(動物生態学・イリオモテヤマネコ/西表大原ヤマネコ研究所)
- プロジェクト実施パートナー
- インド野生生物トラスト(Wildlife Trust of India)
- ビル・クラーク(ケニア野生生物公社名誉保護官)
- イリオモテヤマネコ生息地保全調査委員会(委員長:土肥昭夫 動物生態学/元長崎大学教授)

私たち人間が世代を継いでいけるのは、地球に広大な森や草原、川や泉があることで育まれる様々な生きものに支えられているから。生態系の中で重要な役割を果たすトラ、ゾウ、イリオモテヤマネコを生物多様性のシンボルに、その立場に立って野生の世界を守ること。それは、野生の動物や植物たちのためだけではなく、私たち人間の未来を守ることに繋がります。JTEFは、国内外の現地の人々とともに、野生の世界を守る活動を進めています。

<http://www.jtef.jp>

認定NPO法人 **トラ・ゾウ保護基金**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-5-4 末広ビル3F

TEL.03-3595-8088 FAX.03-3595-8090

E-mail : hogokikin@jtef.jp

JTEF西表島支部やまねこパトロール

〒907-1541 沖縄県八重山郡竹富町字上原656-2

TEL.0980-85-6208

E-mail : takayama@jtef.jp

- ご送金には下の振込用紙を切り離してご利用ください。
- 基金はご希望のコースの□に印を、ご寄付は金額を明記の上、最寄りの郵便局よりご送金をお願いします。
- 入金確認後、10日ほどで領収書をお送りします。

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

00 東京		払込取扱票																			
口座記号番号																					
0	0	1	7	0	7	3	5	5	8	9	7	金額	※	千	百	十	万	千	百	十	円
加入者名 トラ・ゾウ保護基金											料金		備考								
※ご希望のコースの□に印をつけてください。																					
トラ保護基金				ゾウ保護基金				イリオモテヤマネコ保護基金													
□ 3,000円/年				□ 3,000円/年				□ 3,000円/年													
□ 5,000円/年				□ 5,000円/年				□ 5,000円/年													
□ 10,000円/年				□ 10,000円/年				□ 10,000円/年													
□ 20,000円/年				□ 20,000円/年				□ 20,000円/年													
ご寄付 円				ご寄付 円				ご寄付 円													
裏面アンケートの回答 Q1 (e:お名前) Q2 Q3 Q4 Q5																					
おところ (郵便番号)																					
※ (ふりがな) おなまえ																					
(電話番号)																					
(E-mail アドレス)																					
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第51884号)																					
これより下部には何も記入しないでください																					

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出しください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	7	0	7		
加入者名	トラ・ゾウ保護基金							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
※								
ご依頼人	おなまえ							
※								
料金	(消費税込み) 日 附 印							
備考	円							

この受領証は大切に保管してください。

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりとご記入ください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行または郵便局の払込機能付ATMでもご利用いただけます。

・この払込書をゆうちょ銀行または郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証等を必ずお受け取りください。

・この用紙による払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。

・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

3万円以上
貼付

印

下記の質問のご回答を表面にご記入ください。(この場所に記入されても、通知されません)

Q1. 保護基金のことをどのようにお知りになりましたか?

- a テレビ、雑誌等のマスメディア b パソコンやスマホ c リーフレットなど発行物
d 報告会などのイベント e 知人からの紹介 f その他

Q2. 一番充実してほしい情報を1つ選んでください。

- a 動物に起きているできごと b 現地の保護活動 c 寄付金の使いみち

Q3. 一番充実してほしい情報提供の場を1つ選んでください。

- a サイト上の情報 b 会報、冊子など印刷物 c 報告会などのイベント

Q4. 一番充実してほしいイベントを1つ選んでください。

- a 講演会/報告会 b チャリティーイベント(パーティー/絵画展/コンサートなど)
c aとbが組み合わされたイベント d 保護活動の現場を訪ねるスタディーツアー

Q5. ご生年

- a 1990年代 b 1980年代 c 1970年代 d 1960年代 e 1950年代 f 1940年代
g 1930年代 h 1920年代

この場所には、何も記載しないでください。